

# 賢治ウォーク 2010

何があるかな？  
道草も楽しい

赤レンガ、王子倶楽部見学

賢治トレイルを歩こう！

希望者に賢治定食のランチ提供

■2010年**5月22日**(土)

9:50(集合9:45)～15:00頃

JR苫小牧駅南口前(中央階段下付近)  
～王子製紙(赤レンガ外観、王子倶楽部内部・100周年記念展示見学)  
～前浜(ふるさと海岸)～漁港区  
～ぷらっとみなと市場(昼食・持参可)・ホッキ貝資料館～博物館  
～JR苫小牧駅

■参加料：一人**500円**

(保険料、資料代、博物館入館料)

■定員：先着**50名**(5月1日より受付)

(賢治定食：840円事前予約制)

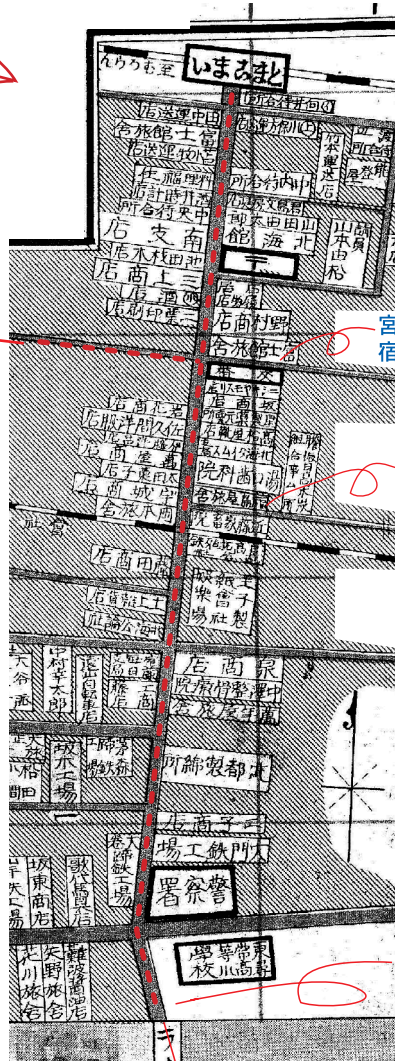
86年前の1924年(大正13年)5月21日夜、苫小牧駅に岩手県花巻農学校の修学旅行生ら一団が降り立ちました。引率教師の一人が宮沢賢治だったのです。この日夜遅く、賢治は下弦の月が浮かぶ中、駅前通を歩いて前浜まで行き、下書き稿となった詩「海鳴り」そして、これを元に詩集・春と修羅の第2集に発表された「牛」という題の詩を作りました。今年は、5月21日の「とまこまい賢治の日」にあわせ、5月22日の土曜日に、賢治の足跡をたどって、苫小牧駅から前浜(ふるさと海岸)まで歩き、追体験をします。さらに漁港や博物館なども訪ねます。この日はちょうど王子製紙苫小牧工場を見学した日でもあります。また、駅前通の歩道に埋められた賢治の詩プレートも確認します。今回は特に博物館での企画展を鑑賞します。

主催：NPO法人ゆうべあまちづくりネットワーク

■申し込み・問い合わせ先 **大石(090-5985-1127)**  
(受付時間=8:00～20:00) FAX: TEL&FAX 74-8211  
苫小牧市豊川町3-22-17

当日配付資料の一部

宮沢賢治が歩いた当時の駅前通マップと主な建物  
(大正末期の地図=博物館蔵=)



宮沢賢治一行が  
宿泊した富士館

今も面影が残る  
福島屋旅館

宮沢賢治はこの道を通って前浜で歩いて行き「海鳴り」と「牛」を詠んだ

至前浜(現ふるさと海岸)

..... 宮沢賢治の足取り

この道を通して賢治一行は王子製紙の工場を見学

※FAXの場合は切り取らずにこのままFAXして下さい。

## 賢治ウォーク申込書

フリガナ
■氏名
■住所
■連絡先電話番号&FAX
■PCメール等
■賢治定食希望の方はチェックを(事前予約のみ提供) <input type="checkbox"/> 賢治定食希望(840円=税込) (天ぷらそば+サイダー)